

官報

號外 昭和十八年六月十八日

○第八十二回衆議院議事速記第二號

帝國議會

昭和十八年六月十七日(木曜日)

午後八時五十二分開議

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス〕

一昨十六日東條内閣總理大臣ヨリ左ノ通發
令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

海務院次長 安田 丈助
海務院部長 新谷寅三郎

第八十二回帝國議會渡信省所管事務政府
委員被仰付

一昨十六日委員長及理事互選ノ結果左ノ如
シ

豫算委員

委員長

理事

小高長三郎君

河盛安之介君

河野 密君

豐田 收君

松浦周太郎君

決算委員

委員長

理事

赤間 德壽君

北 勝太郎君

高島龜太郎君

矢部 藤七君

小川郷太郎君

金井 正夫君

喜多壯一郎君

田村 秀吉君

中村三之丞君

小林 絹治君

小澤 治君

坂下仙一郎君

原 玉重君

請願委員

委員長

理事

大野 一造君

岸井 壽郎君

田中和一郎君

坂東幸太郎君

大島 寅吉君

大橋清太郎君

宗前 清君

頼母木眞六君

懲罰委員

委員長

理事

小笠原八十美君

田中伊三次君

山中 義貞君

木下 郁君

高梨 乙松君

新井 堯爾君

齊藤 正身君

中 助松君

津崎 尙武君

川崎末五郎君

小谷 節夫君

建議委員

委員長

理事

菊地養之輔君

田万 清臣君

古田喜三太君

泉 國三郎君

木下 義介君

仲西 三良君

川崎末五郎君

小谷 節夫君

昭和十七年法律第二十三號中改正法律案
(陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別

昭和十八年六月十八日

會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例
ニ關スル件(政府提出)委員

委員長 窪井 義道君

理事 石坂 養平君 今尾 登君

今成留之助君

企業整備資金措置法案(政府提出)外二件

委員 木暮武太夫君

委員長 池本甚四郎君 片山 一男君

理事 黑澤 西藏君 鶴 物市君

中西 敏憲君 野田 武夫君

朝鮮食糧管理特別會計法案(政府提出)外
二件委員

委員長 馬岡 次郎君 越智太兵衛君

理事 中村 梅吉君 西川 貞一君

馬場 元治君 山本 桑吉君

高橋 守平君

○議長(岡田忠彦君) 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス、開院式 勅語奉答書捧呈ノ願末ヲ御報告

致シマス、本日參内致シマシテ、午前十時

鳳凰ノ間ニ於テ拜調ヲ賜ハリ、御前ニ進ミ

マシテ、奉答書ヲ朗讀致シ捧呈致シマシ

タ、之ニ對シテ勅語ヲ賜ハリマシタ、茲ニ

捧讀致シマス——諸君ノ御起立ヲ求メマス

(總員起立)

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

(總員敬禮)

○森下國雄君 議案上程ニ關スル緊急動議

ヲ提出致シマス、即チ此ノ際(第一號)昭和

十八年度歳入歳出總豫算追加案、(特第一

號)昭和十八年度各特別會計歳入歳出豫算

追加案、(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナル

ベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(第一號)昭和十八年度歳入歳出總豫算

追加案

(特第一號)昭和十八年度各特別會計歳

入歳出豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

追加案、(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナル

ルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノ三案ヲ一括

議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審

議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議

アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマ

ス、(第一號)昭和十八年度歳入歳出總豫算

追加案、(特第一號)昭和十八年度各特別會

計歳入歳出豫算追加、(追第一號)豫算外國

庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル

件、右三案ヲ一括シテ議題ト致シマス、豫

算委員長ノ報告ヲ求メマス——豫算委員長

小川郷太郎君

(第一號)昭和十八年度歳入歳出總豫算

追加案

(特第一號)昭和十八年度各特別會計歳

入歳出豫算追加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナル

ベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

報告書

一(第一號)昭和十八年度歳入歳出總豫算

追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十八年六月十七日

豫算委員長 小川郷太郎

衆議院議長岡田忠彦殿

報告書

一(特第一號)昭和十八年度各特別會計歳

入歳出豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十八年六月十七日

豫算委員長 小川郷太郎
衆議院議長岡田忠彦殿

報告書

一(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十八年六月十七日

豫算委員長 小川郷太郎
衆議院議長岡田忠彦殿

(小川郷太郎君登壇)

○小川郷太郎君 只今議題トナリマシタ昭和十八年度歳入歳出總算追加第一號、同じク各特別會計歳入歳出豫算追加第一號及ビ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號ノ三件ニ付キマシテ、豫算委員會ニ於ケル審議ノ經過並ニ結果ニ付キマシテ御報告申上ゲマス

先ツ昭和十八年度歳入歳出豫算追加第一號ノ内容ニ付テ申述ベマスレバ、此ノ歳入歳出共ニ六億二千圓デアリマシテ、之ヲ第八十一回帝國議會ニ於テ成立致シマシタ金額ニ加ヘマスレバ、昭和十八年度豫算額ハ歳入歳出共ニ百三十八億九千五百餘萬圓ト相成ル次第デアリマス、歳入追加額ハ六億二千餘圓デアリマシテ、其ノ事項別内譯ハ公債金收入ノ増加三億一千三百餘萬圓、前年度剩餘金繰入ノ増加三億圓等ト相成ツテ居リマス、而シテ右公債金收入ノ増加ニ伴ヒマシテ、昭和十八年度ニ於ケル一般會計歳出豫算ノ財源タル公債發行豫定額ハ、第八十一回帝國議會ニ於テ成立致シマシタモノト今回提出セラレマシタモノト相通

ジ、歳入補填公債三十四億九千九百餘萬圓、其ノ他二千餘萬圓、計三十五億九千九百餘萬圓ト相成リ、尙ホ之ニ臨時軍車費特別會計ニ屬スル分百七十一億六千三百餘萬圓、其ノ他ノ特別會計ニ屬スル分、今回提案ニ係ル分モ含メマシテ十一億七千七百餘萬圓ヲ加ヘマスレバ、昭和十八年度ニ於ケル公債發行豫定額ハ、總額二百十八億六千餘萬圓ニ達スルノデアリマス、歳入追加額ハ經常部七千餘圓、臨時部六億九千九百餘萬圓デアリマシテ、其ノ事項別ノ内譯ハ、企業整備ニ關スル經費一億五千三百餘萬圓、米穀生産確保ニ關スル經費四億四千餘萬圓、食糧緊急増産ニ關スル經費二千五百餘萬圓等デアリマシテ、現下ノ時局ニ顧ミ、何レモ本年度ニ於テ緊急眞ニ已ムヲ得ザル經費ヲ計上致シテ居ルノデアリマス

次ニ昭和十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加第一號ニ付テ申シマスレバ、右ハ朝鮮總督府朝鮮食糧管理、臺灣總督府臺灣米穀移出管理、國債整理基金公債金及ビ帝國鐵道ノ各特別會計ニ關スルモノデアリマシテ、一般會計ニ準ジ何レモ緊急已ムヲ得ザル經費ヲ計上シテ居ルノデアリマス

最後ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件追第一號ニ付テ申述ベマスレバ、企業整備、其ノ他損失補償及ビ補助十二億千餘圓、中小商工業者轉廢業共助資金利子補助元本金額ノ増加二億六千八百餘萬圓、特殊預金及ビ特殊金債信託取扱機關損失補償及ビ補助五億八百餘萬圓、政府特殊借入金借入並ニ債務者特殊借入金及ビ臨時金融金庫特殊借入金元利保證三十五億圓、朝鮮産業物資營團出資千餘萬圓、朝鮮産業物資營團債券元利保證一億圓等デアリマス、是等豫算關係ノ案件ヲ審査致シマス爲ニ、豫算委員會ハ昨十六日、即チ開院式ノ舉行セラレマシタ當日其ノ夕刻ヲ以テ直チニ會議ヲ開キ、先ツ豫算各案ニ關スル政府ノ提案說明ヲ聽取シ、次イデ政府ノ要求ニ應ジ秘密會議ヲ開キ、物資動員計畫及ビ外交事情ニ關スル政府ノ説明ヲ聽取シタノデアリマス、本日ハ午前九時ヨリ會議ヲ開キマシテ、直チニ質疑ニ入りマシテ、午後六時過ヲ以テ審査ヲ終了致シマシタ次第デアリマス、本委員會ニ於キマシテハ、今回特ニ帝國議會ノ召集ヲ必要トスルニ至リマシタ時局ノ重要性ニ顧ミマシテ、一切ノ論議ハ舉ゲテ當面ノ重要問題ニ之ヲ集結シ、積極的且ツ建設的ナル態度ヲ以テ、一億國民ノ聽カント欲スル所ヲ質シ、言ハント欲スル所ヲ述ベ、以テ本委員會ニ課セラレタル重大任務ヲ全ウセンコトヲ期シタルノデアリマス、幸ニシテ委員諸君ノ非常ナル精勵ニ依リマシテ、是等ノ案件ニ付キマシテモ、極メテ短期間ニ其ノ審議ヲ終了シタノデアリマス、此ノ間委員諸君カラハ誠意且ツ周到ナル態度ヲ以テ質疑ヲセラレ、他方政府ニ於テモ亦眞摯且ツ率直ナル態度ヲ以テ、其ノ決意ト信念トヲ披瀝セラレタノデアリマシテ、洵ニ大東亞戰爭完遂ニ邁進スル舉國一致ノ態勢ガ、本委員會ニ於テ如實ニ發現セラレタコトハ、私ノ最も欣幸トスル所デアリマス(拍手)本委員會ニ於ケル質疑應答ハ、國政一般、財政問題、企業整備問題、食糧増産問題、輸送問題、勞務問題等廣汎ニ互リマシタガ、其ノ詳細ハ速記録ニ依ツテ御承知ヲ願フコトトハ、食糧増産問題ニ關聯致シマシテ、最後ニ委員長ヨリ政府ニ質疑シタ點デアリマ

ス、即チ委員長カラ本委員會ニ於テ議論ノ中心トナリタル食糧問題ニ付テハ、既ニ御聞及ビノ通りデアリマシテ、戦力増強上食糧ノ生産確保ハ絕對必要ニシテ、是ガ生産ニ要スル肥料及ビ農機具ニ付テハ、戰時行政機構特例ニ定メラレタル五大重要産業ト同様ニ取扱ヒ、速カニ是ガ實現ヲ期スベキモノト思フガ、政府ノ所信如何、此ノ委員長ヨリノ質疑ニ對シマシテ、企業院總裁カラ次ノヤウナ答辯ガアリマシタ、即チ政府ハ決戦下米穀ト主要食糧ノ需給確保上、是ガ生産ニ要スル肥料及ビ農機具ノ資材ニ付テハ、戰時行政機構特例ニ定メラレタル五大重要産業所要資材ト同様ニ、取扱フヤウ特段ノ方途ヲ講ジ、主要食糧ノ生産ニ萬遺憾ナキヲ期シタイト思ヒマス、尙ホ農機具ノ生産ニ付テハ、之ヲ更ニ計畫スルヤウ考慮シタイト思ヒマス(拍手)

斯ノ如ク致シマシテ、質疑應答ヲ終リマシテ、討論ニ入りマシタ所、中村三之丞君カラ理由ヲ附シテ政府ノ提出セル原案ノ儘ニ可決スベシトノ意見ガ開陳サレマシテ、採決ノ結果全員一致ヲ以チマシテ原案通り可決セラレマシタ、速カニ其ノ趣キヲ諸君ニ御傳ヘ致スコトヲ得タ次第デアリマス

以上ヲ以チマシテ昭和十八年度歳入歳出總算追加第一號外二件ニ關スル豫算委員會ノ審査經過及ビ結果ノ報告ト致シマス(拍手)

○議長(岡田忠彦君) 採決致シマス、三案ノ委員長報告ハ執レモ可決デアリマス、三案ヲ一括シテ委員長報告ノ通り決スルニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(議員起立) 起立議員

〔拍手起ル〕
○議長(岡田忠彦君) 仍テ三案トモ委員長報告ノ通り全會一致可決確定致シマシタ(拍手)

○森下國雄君 議案上程ニ關シマヌル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、朝鮮食糧管理特別會計法案、朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、及ビ臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ノ三案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、朝鮮食糧管理特別會計法案、朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長高橋守平君

朝鮮食糧管理特別會計法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
第二讀會ノ續(委員長報告)

報告書
一朝鮮食糧管理特別會計法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十八年六月十七日
委員長 高橋 守平

衆議院議長岡田忠彦殿

報告書
一朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十八年六月十七日
委員長 高橋 守平

衆議院議長岡田忠彦殿

報告書
一臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十八年六月十七日
委員長 高橋 守平

衆議院議長岡田忠彦殿

朝鮮食糧管理特別會計法案外二件ノ委員會ノ
○高橋守平君 只今議題トナリマシタル朝鮮食糧管理特別會計法案外二件ノ委員會ノ

經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス
本委員會ハ昨晚委員長理事ノ互選ヲ致シマシテ、今朝九時カラ質疑ニ入ツタノデアリマスルガ、其ノ質疑ニ入りマスル前ニ大東亞ニ於ケル食糧事情竝ニ朝鮮、臺灣ニ於ケル食糧事情及ビ内地ニ於ケル食糧事情ニ付キマシテ、政府ノ説明ヲ受ケタノデアリマスル、此ノ委員會ニ於テ行ハレシマタル質疑ノ中主ナルモノヲ御紹介申上ゲマスルト、本年行ハレマシタル四千百万石ノ供出米ノ問題ニ關シマシテ、一委員ヨリ此ノ供出米ハ國策トシテ決定シタルコトデアラカシテ、農民ハ此ノ國策ニ應ズル爲ニ義務ヲ果シタノデアラガ、此ノ供出米ノ方法ニ付テハ頗ル遺憾ノ點ガアツタト思フ、殊ニ此ノ供出米ニ依ツテ農民ノ生産意欲ノ上ニ、少カラザル惡影響ヲ及ボシタル點ガアルガ、政府ハ本年度ニ於テモ、亦昨年度ノ供出米ト同様ナル方法ヲ供出ラセシムルノカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ割當時期、若シクハ割當ノ上ニ彈力性ヲ持タセ、其ノ他凡エル工作ヲ講ジテ改善スル積リデアルト云フ答辯ガアツタノデアリマス、一委員ヨリハ現下ノ食糧増産ノ喫緊重大ナル問題デアアルコトニ對シテ、從來ノ如ク單純ナル消極的施策デハ、到底國家ノ要求スル増産ヲ考ヘルコトハ出來得ナイ、思切ツテ積極的ニ新ラシイ技術ヲ取上ゲテ、農林省ガ其ノ新ラシイ技術ヲ農民全體ニ普及徹底セシムル陣頭指揮ヲ行フコトガ必要デハナイカ、殊ニ地方長官ガ此ノ食糧増産ニ努力ト熱意ヲ拂フ府縣ニ於テハ、相當増産ニ於テモ成績ヲ見テ居ルガ、トモスルト地方長官ハ農林省ノ意圖スル事柄ニ對シテ冷淡ナ傾キガアルト思フガ、之ニ對シテ政府ハド

ウ考ヘルカト云フ質問ガアツタニ對シマシテ、政府ハ新技術ノ取入レハ最モ必要ナコトデアアル、又地方長官ニ對スル關係ハ、治安ノ確保ハ思想ト食糧ノ問題ガ重大ナル關係ヲ持ツノデアラカラシテ、地方長官ノ努力ト熱意トヲ有セシメルコトニ對シテハ、全ク同感デアルト云フ内務當局カラノ御答辯ガアツタノデアリマス、最後ニ一委員ハ、大東亞ノ食糧問題ニ言及致シマシテ、大東亞ニ於ケル自給自足ノ指導的地位ニアル日本デアアルガ、我が國ノ食糧ハ日滿ニ於テ自給スベキ閣議決定ガアル、隨テ此ノ日滿ニ於テ自給自足スベキ方策ヲ、唯單ニ南方ニ依存シテ、此ノ閣議決定ノ方策ノ日滿ノ自給自足ノ増産計畫ヲ忘レテハ相成ラヌガ、政府ハドウウカト云フ質問ニ對シマシテハ、全ク同感デアアル旨ノ答辯ガアツタノデアリマス、其ノ他詳細ハ速記録ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス
斯クシテ質疑ハ終了致シマシテ、馬場元治君カラ討論ヲ打切ツテ採決ニ入ルベキ旨ノ動議ガ提出サレマシテ可決サレ、直チニ採決ニ入りマシテ、滿場一致原案ノ通り可決シタ次第デアリマス、此ノ段御報告申上ゲマス(拍手)
○議長(岡田忠彦君) 三案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○森下國雄君 直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

朝鮮食糧管理特別會計法案

第二讀會(確定議)

朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補助金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補助金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

○議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ三案トモ委員長報告通リ可決確定致シマシタ(拍手)

○森下國雄君 議案上程ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、企業整備資金措置法案、昭和十八年法律第九號中改正法律案及ビ國民更生金庫法中改正法律案ノ三案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、企業整備資金措置法案、昭和十八年法律第九號中改正法律案、國民更生金庫法中改正法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

委員長木暮武太夫君

企業整備資金措置法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

昭和十八年法律第九號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告) 國民更生金庫法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一企業整備資金措置法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十八年六月十七日 委員長 木暮武太夫

報告書

一昭和十八年法律第九號中改正法律案

(昭和十八年度一般會計歲出入ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十八年六月十七日 委員長 木暮武太夫

衆議院議長岡田忠彦殿 報告書 一國民更生金庫法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十八年六月十七日 委員長 木暮武太夫

衆議院議長岡田忠彦殿 報告書 一企業整備資金措置法案ハ、本議場ニ於キマシテ曩ニ大藏大臣カラ親シク皆極方ニ御説明申上ガマシタノデ多クハ申上ガマセヌガ、簡單ニ其ノ内容ヲ申上ガマスラバ、第一ノ狙ヒドコロハ今回ノ企業整備ニ伴ヒマシテ移動スル所ノ莫大ナル資金ヲ浮動購買力化スルコトヲ抑制致シマスル爲ニ、政府ニ於キマシテ新ラシイ工夫構想ニ

依リマシテ、債務證書ニ依ル所ノ決濟方法ヲ取ルコトニシタト云フコトデアリマス、第二ハ封鎖致シマシタ所ノ資金ヲ、納税ノ必要ナル場合、或ハ債務辨濟ノ場合、或ハ時局ニ必要ナル産業ニ投資セントスル場合ニ於キマシテハ、之ヲ現金ニ替ヘルコトニ躊躇スルモノデハナイト云フ點デアリマス、第三ハ休廢止會社ト雖モ從來ノ如ク是ガ解散ヲ致シマシテ、殘餘ノ財産ヲ分配致シマスルナラバ、此ノ莫大ナル金ガ金融市場ニ放出サレマシテ、浮動資金化スル虞レ大ナルモノガアリマスノデ、今回ハ休廢止スル會社ト雖モ債權保有會社トシテ、之ヲ解散セシメズシテ、存置セシムルト云フコトヲ決メタ點デアリマス、第四ハ企業整備ニ關シマシテハ、過去ニ於キマシテモ可ナリ租税ノ減免ヲ政府ハ致シテ居リマシタガ、今回ハ色々ノ角度カラ、企業整備ノ圓滑ナル運營ヲ圖リマス爲ニ租税ノ減免ヲ致シマシタ其ノ規定ヲ設ケタ點デアリマス、第五點ト致シマシテハ休廢止致シタモノノ設備資産ヲ保有又ハ買取りマス所ノ産業設備營團或ハ更生金庫ナドニ對スル國庫ノ補償ノ點ヲ明確ニ致シテ居ルデアリマス

モウ一ツノ法律即チ國民更生金庫法中改正法律案ハ國民金庫ガ今日五千万圓ノ資本デアリマシテ、其ノ内譯ハ民間ノ出資百万圓、政府ノ出資四千九百万圓、今回ハ此ノ五千万圓ニ加フルニ政府出資五千万圓ト致シマシテ、一億圓ノ資本金デ、其ノ資本金ノ十五倍ノ債券ヲ發行スル所ノ資力ヲ之ニ與ヘシメテ、劃期的ノ企業整備ノ中心トシテ更生金庫ガ十二分ニ商工業者ノ資産買取、共助金貸付其ノ他ニ働キ得ルヤウナ力ヲ與ヘントスル所ノモノデアアルデアリマス

以下若干質疑應答內容ヲ御説明申上ゲタ
イト思フノデアリマス、先づ第一ニ今回ノ
企業整備ト從來ノ企業整備トドウ云フ點ガ
違フノデアルカ、即チ今回ノ企業整備ノ時
殊性如何ト云フ質問ニ對シマシテハ、答トシ
テ今回ノ企業整備ハ支那事變以來幾度カ企
業整備或ハ企業ノ合理化、整理ノ統合ト云
フ名ノ下ニ行ハレマシタモノト違フ點ハ、
今マデノ企業整備ハ原材料ガ少クナツタ、ソ
コデ當該産業ノ能率ヲ増進シ合理化ヲスル
必要ガアルト云フノデ、優秀大工場ニ中小ノ
工場ヲ合併致シマスル所ノ、大體整備ノ方
針デアツタノデアリマスルガ、今回ノ企
業整備ノ狙ヒドコロハ御承知ノ通り大東亞
戰爭ノ現段階ニ於キマシテ、苛烈凄愴ノ様
相ヲ呈シテ參リマシタ所ノ今日ノ戰局ニ即
應致シマシテ、我が帝國ノ綜合戰力、就中
直接戰力ト云フモノヲ、彌ガ上ニモ飛躍的
ニ増強シナケレバ、死スカ減ブルカノ關頭
ニアル我ガ帝國ヲシテ、勝利ノ榮冠ヲ戴カ
シメルコトハ、中々難カシイ事態ニアルノ
デアルカラ、從來未ダ曾テ戰力化サレナイ
所ノ帝國到ル處ニアル資材、勞力、動力、
輸送力ト云フモノヲ此ノ際皆集中シテ戰力
化シテ、仍テ直接戰力ヲ飛躍的ニ増強シテ、
第一線ノ將兵ノ方々ヲシテ後顧ノ憂ヒナカ
ラシムルト云フ所ニ大キナ狙ヒガアルノデ
アツテ、從來ノ物ガナクナツタカラ、段々
仕事ヲ整理シテ行クノダト云フ消極的ノモ
トトハ違フノデアルト云フノデアリマス、今
回ノ整理ノヤリ方ハ、然ラバドウ云フ風ニ
ヤルカト云フ質問ニ對シマシテハ、政府ノ御
答ヘト致シマシテハ、主トシテ工業ニ狙ヒドコ
ロヲ置イテ居ルノデアル、中小商業ニ付キマシ
テハ昨年四月二十一日閣議決定ニナリマシテ、

爾來整備ヲ斷行シテ本年三月三十一日ヲ以
テ、一應結末ガ付キマシタ所ノ整備ノ方針ヲ、
其ノ儘踏襲シテヤツテ居ルガ、工業ニ付キマシ
テハ第一種部門、第二種部門、第三種部門ト
之ヲ分ツテ見ル、第一種部門ト云フノハ工場設
備ノ轉用、或ハ工場設備ヲ廢止シテ、其處
カラ勞力ヲ供出シ、或ハ金屬ヲ供出スル
云フヤウナコトニ寄與スル所大ナル纖維
業、或ハ食品業、或ハ化學工業ト云フモノ
ヲ、第一種工業部門トシテ茲ニ重點ヲ置イ
テヤルノデアル、第二種工業部門ハ、即チ
直接戰力ヲ増強スル所ノ重責ヲ擔フ機械工
業、重工業ヲ指スモノデアアル、此ノ二ツヲ
除キマシタモノガ、第三種工業部門ニ屬ス
ルモノデアツテ、今回ノ企業整備ニ於テハ、
重點ハ第一種、第二種ニ置クノデアアル、第
三種ハ政府トシテハ飽クマデ法令ノ發動ト
云フコトニ依ラズ、政府ノ指導、勸奨、幹
旋ニ依ツテ其ノ整備ノ促進ヲ圖ル建前ニナ
ツテ居ル、斯ウ云フノデアリマス、第二種
工業部門、即チ重工業及ビ機械工業ニ付キ
マシテハ、此ノ整備ハ工場ヲ減ラスノデハ
ナク、其ノ機能ヲ刷新シ、或ハ系列ヲ整備
完全ニ致シマシテ、仍テ以テ此ノ戰力増強
ノ中心ヲ負擔シテ居リマス所ノ重工業、機
械工業ノ能力ヲ彌ガ上ニモ發揮スルヤウナ
方法ニヤリタイト云フ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ
説明シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤリ
方デアアルカラ、從來ノヤウニ必ズシモ優秀
ナ大工業ガ殘存シ、繁榮スルト云フ譯ニハ
參ラナイ、立地條件ノ上カラ見テモ、榮祿
供出ノ點カラ見テモ、或ハ轉用ノ適格トト
カラ見テモ、ソレガ軍需工業ニ轉換スルコ
ト、極メテ適當ナルモノナレバ、優秀大工
業モ亦轉用活用サルルコトニナツテ、却テ

勞務ノ供出乏シク、或ハ金屬ノ回收餘リニ
多キヲ期待シ難イヤウナ小工業、或ハ家庭
工業ト云フヤウナモノハ、國全體ノ産業ノ
有機的ノ能力發揮ニ資スル意味ニ於テ、地
方ニ於テハ殘スヤウナコトガアルカモ知レ
ナイ、斯ウ云フ考ヘ方デアアルノデアリマス、
斯ウ云フヤリ方デアリマスカラ、從來ノヤ
ウナ全國劃一的ニ企業整備ヲヤルノデハナ
イ、所謂立地條件ト云フモノヲ能ク勘案考
究致シマシテ、地方ノ實情ニ應ズルヤウナ
今度ハ具體的實情ニ副ウタ企業整備ヲヤル
ノデアアル、例ヘテ申シマスタラバ、「セメン
ト」業ヲ整備スル場合ニ於キマシテモ、「セ
メント」業ノ燃料トシテ必要ナ石炭ガ澤山
ニ出ル場所ニアル「セメント」工場ハ、假令
假ニ能率ガ餘リ良イモノデナクテモ、側ニ
石炭ガアルナラバ、之ヲ殘シテ置イテ宜イ
デハナイカト云フヤウナ、實情ニ即シタ所
謂劃一的ナラザル所ノ企業ノ整備ヲヤル方
針デアアルト云ツテ、其ノ態度ヲハツキリト
致シタコトデアリマス

次ハ今回ノ企業整備ハ其廣汎ニシテ深刻
ナル結果トシテ、影響スル所ハ頗ル多イノデ
アリマス、國民生活ノ上カラ見マシテモ、
國民經濟ノ上カラ見マシテモ、頗ル大ナル
影響ヲ與フルモノデアアルカラ、之ヲ實施ス
ルニ當リマシテハ政府ハ如何ナル用意ヲ以
テ國民ノ納得、理解、協力を求メルノデア
ルカト云フ質問ガアツタノデアリマス、之ニ對
シマシテハ、第一種工業部門ノ工場ヲ、是ハ
純業工場トスベシ、俾右工場トスベシ、轉
用工場トスベシ、廢止工場トスベシト云フ
ヤウナコトヲ決定致シマスルヤウナ場合
ハ、唯官ノミノ認メタ所ニ依ツテ之ヲ決定
致サズシテ、當該産業ガ統制會ニ屬シテ居
ルモノナラバ統制會ノ意見ヲ十分ニ參酌ス
ル、各種ノ中央ニ於ケル産業團體ノ意見モ
十分參酌スル、地方ノ場合ニ於キマシテ、
新シイ性格ヲ持ツテ六月一日カラ登場シタ
所ノ商工經濟會ト云フヤウナモノモ此ノ運
營ニ十分ニ參畫サシテ實情ト遠ザカルコトナ
キヤウニ十分ニ注意スル考ヘデアアル、モウ
一ツ休廢止工場等ノ工場主トシテ一番心配
致シマスル點ハ、自分達ガ多年持ツテ居ツ
タ所ノ資産竝ニ設備ノ評價ガ、果シテ適正
ナリヤドウカト云フ點デアアルト云フコトヲ
考ヘマシタノデ、政府ト致シマシテハ法律
ノ上ニ、國民更生命庫或ハ産業設備營團ガ
買取リマスル所ノ資産ノ評價ニ付キマシテ
ハ、官民合體致シマシタ學識經驗者ヲ網羅
スル所ノ新シイ評價委員會ヲ各、設ケマシテ、
其ノ運宜シキヲ得テ、其ノ評價ガ適正ナ
ルコトヲ國民ニ納得セシメテ、十分心カ
ラナル協力ヲ期待スルヤウナ方途ニ出ヅル
ト云フコトノ説明ガアツタノデアリマス、
更ニ政府ノ言明ニ依リマスルナラバ、戰爭
ノ目的ヲ完遂スルニハ、一方直接戰力ヲ飛
躍的ニ増強スルコトガ狙ヒドコロノ一ツデ
アルコトハ勿論デアアルガ、同時ニ戰時國民
生活ヲ確保スルコト云フ點モ十分ニ考ヘテ居
ルノデアアル、第一種工業部門ニ於テ操業工
場ヲ決定スル場合ニ於テ然リ、又第二種工
業部門即チ雜品工業、國民生活ニ必要ナ日
用品ノ工場ナドニ付テハ、一ツノ計畫的
ニ國民生活維持ニ對スル目標ヲ定メテ、是
ガ整備ヲ行フ積リデアアルカラ安心シテ欲シ
イト云フコトヲ言ツテ居ツタノデアリマス
次ニ質問ト致シマシテ、從來ノ整備ニ於
キマシテハ、統制會社等ニ對シマシテハ、動
トモ致シマスル手ヲ觸ラレヌ傾向ガア

ツタ、民間ノ總テノ事業ハ國家ノ要請、政府ノ至上命令ニ心カラ納得協力シテ、是ト歩調ヲ合ハシテ整備ヲヤツテ行ク時ニ、獨リ政府ニ關係ノ近イ所ノ統制會社ノミガ何時モ安閑トシテ企業整備ノ範疇カラ逸脱シテ居ルト云フコトハ、或ハ國民ノ企業整備ニ對スル熱意ノ昂揚ヲ妨グルモノナキヤヲ保シ難イ状態デアルガ、今回ハ如何デアルカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ商工大臣ハ率直ニ統制會社等ガ、統制經濟ニナリマシテ以來、國家ノ計畫ニ即應シテ生産配給其ノ他ノ仕事ノ運営ノ爲メ出來タト云フ當時ニ於キマシテハ、相當ノ活動ヲシテ其ノ目的ヲ達シテ居ツタノデアラウガ、最近ニ於キマシテ、時代ノ推移ニ伴ツテ、或ハ現實ニ物ヲ握ラザルトコロノ「トシネル」會社式ノ統制會社モ今日ニナツテハ方々ニアルヤウダ、或ハ又中間ノ費用ガ非常ニ掛カルヤウナ統制會社モアルヤウニ思フカラ、此ノ際縦ト横ト兩方ノ部面カラ數多キ統制會社ヲ再檢討致シマシテ、其ノ改廢ヲ決シ、モツト簡素化シテ、仍テ以テ餘剩勞力アレバ之ヲ出シテ時局産業ノ方ニ向ケシメ、或ハ中間ノ利潤ヲ削減致シマシテ、サウシテ消費者ノ負擔ヲ減ラシ、生産者ノ蒙リマス損失ヲ減ラシテ行ク方針デアルカラト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、ソレカラ今

回休廢止工場ガ出來マスルト、隨テ地方税ノ收入ト云フモノガ減リマシテ、或ル縣ニ於キマシテハ地方財政ノ運営ガ頗ル困難ニナルモノガアルノデアリマス、一方企業整備ニ依ツテ地方ノ歳出ハ膨脹致シマスカラ、彼此レ見合ハセマシテ、此ノ企業整備ニ依リマシテ、地方ノ財政ノ困難ナルモノガ出來テ來ルガ、之ヲドウスルカト云フ質問ニ

對シマシテハ、洵ニ御説ノ通りデアル、斯ウ云フ場合ニハ地方分與税ノ増加、或ハ其ノ配分ヲ按配スルトカ、或ハ短期債ヲ之ニ許可スルトカ云フコトヲヤツテ一時的ニハ切抜ケルガ、將來ハ或ハ交付金制度ト云フヤウナトコモ考ヘナクテハナルマイガ、兎ニ角企業整備ニ依ツテ休廢工場ガ出來テ、地方ノ稅收ガ減ツテ、地方ノ財政ガ其ノ爲メ都合悪ク行キマシタ時ニハ、政府ト致シマシテハ之ヲ放任セズ、親切ナ氣持ヲ以テ此ノ調整按配ニ乘出シテヤルト云フ説明ガアツタノデアリマス

最後ニ一ツ申上ゲマスガ、金屬回收ハ今回ハ大々的ニ商工省ノ外局トシテ金屬回收本部ガ出來マシテ計畫的、綜合的ニオヤリニナルノデアリマス、委員ノ中一人カラノ質問ト致シマシテ、從來金屬回收ノ跡ヲ釋ネテ見ルト、折角金屬ヲ回收致シマシタガ、ソレノ輸送困難ナル爲ニ、長期間堆積シテ、此ノ事ガ動トモスルト外ノ物ノ滯送ヲ阻ムバカリデナク、熱心ナル供出者ヲシテ、其ノ後ノ供出ニ對シテ不熱心ナラシムルノ虞ガアルヤウナ状態ガ少カラズアツタガ、今回ハドウカ、之ニ對シマシテノ答ハ、今回ハ金屬回收本部ト云フモノガ中心ニナツテ、是ニ於テ計畫、回收、評價、輸送ト云フ所ノ綜合的ナ案ヲ立テマシテ、各省ト連絡シテ過去ノヤウナ醜イコトノナイヤウニ注意スル積リデアルカラ、間違ヒナイコトヲ確信シテ居ルト云フ答辯デアツタノデアリマス、其ノ他十一人ノ方カラ長イ時間ニ互リマシタ御質問ガゴザイマシタガ、是等ノ詳細ニ付キマシテハ、ドウゾ皆様方ハ委員會ノ速記録ニ就キマシテ、今日ノ問題ニナツテ居ル企業整備ノ具體的ノ項目ニ付キマシテ、御

知リヲ願ヒタイト思フノデアリマス、斯クテ遂ニ夕刻ニナリマシテ質疑ヲ終了致シマシテ討論ニ入りマシタ、野田武夫君カラ翼贊政治會ヲ代表致シマシテ贊成ノ意見ノ開陳ガゴザイマシタ、全會一致ヲ以チマシテ三案トモ原案ノ通り可決確定スベシト云フコトニ決シマシタ、此ノ段御報告ヲ申上ゲマス(拍手)

○議長(岡田忠彦君) 三案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○森下國雄君 直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレシコトヲ望ミマス
○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
企業整備資金措置法案(政府提出)
第二讀會(確定議)
昭和十八年法律第九號中改正法律案(昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル件)(政府提出)
第二讀會(確定議)
國民更生金庫法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)
○議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ三案トモ委員長

報告通り可決確定致シマシタ(拍手)
御報告ヲ申上ゲルコトガアリマス、議員平川松太郎君ハ去ル五月十九日、又議員加藤俊夫君ハ去ル六月七日何レモ逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、兩君ニ對スル弔詞ハ議長ニ於テ先例ニ依リソレノ弔意ヲ表スル爲メ、野田武夫君、岸田正記君ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、順次之ヲ許シマス——野田武夫君

〔野田武夫君登壇〕
○野田武夫君 此ハ此ノ際甚ダ僭越デハゴザイマスガ、諸君ノ御同意ヲ得マシテ議員一同ヲ代表シ、曩ニ故人トナラレマシタ平川松太郎君ニ對シ謹ンデ哀悼ノ意ヲ表シタイト存ジマス
平川君ハ明治十年五月廣島縣雙三郡和田村ニ生レラレタノデゴザイマス、明治三十四年四月中央大學ニ入り、業終ルヤ辯護士ノ業務ニ從事シ、其ノ間横濱辯護士會會長ニ推サレ、在野法曹界ノ權威者トシテ活躍シテ居ラレタノデゴザイマス、大正十三年五月第十五回總選舉ニ當リマシテ、神奈川県第三區ヨリ推サレ衆議院議員ニ當選ノ榮冠ヲ得ラレマシタノヲ初メト致シマシテ、爾來第十六回乃至第二十一回總選舉ニ至ルマデ續イテ當選サレ、在職十九年二箇月ノ長キニ互リ、通常臨時ノ議會ヲ開スルコト三十三回ノ多キニ及ンダノデゴザイマス、此ノ間過グル第八十一議會ノ請願委員長ヲ初メ、各種重要特別委員會ノ委員長、理事、或ハ委員トシテ能ク國政審議ノ重責ニ當リ、憲政ノ發達ニ貢獻サレマシタ功績ハ蓋シ顯著ナルモノガアルノデゴザイマス、君ハ又昭和四年七月ニ派信大臣秘書官ニ、

同ジク六年四月ニハ、渡信參與官ニ、同十四年一月ニハ、渡信政務次官ニ任セラレマシテ、遞信行政ニ參畫セラルルコト前後二年有餘ニ及ビ、或ハ電氣通信、船舶管理、航空機製、造事業、國民貯蓄獎勵、造船事業ノ各委員會委員、電力審議會委員、日本發送電、大日本航空、東亞海運各株式會社設立委員等ヲ仰付ケラレ、君ガ航空、造船、電氣等ノ重要産業ニ關シ國家ニ貢獻セラレマシタ功績ハ、實ニ多大ナルモノガアルノデゴザイマス、他面君ハ昭和十二年來數年間橫濱貿易新報社長トシテ言論報國ノ爲メ活躍シ、又特ニ教育界ニ遺サレマシタ足跡大ナルモノガゴザイマス、即チ昭和二年四月、小田原商業學校ヲ創立シ、推サレテ校長ノ任ニ就キ、爾來夙夜拮据勩勉、教育ノ發展、文化ノ向上ニ盡瘁セラレ、其ノ高潔ナル人格ト、鐵石ノ信念ト、溢ルル温情トニ育クマレマシタル數千ノ教ヘ子等ハ、君ノ訃報ニ一タビ接スルヤ、敢然君ノ遺志ヲ繼ギ、挺身報國ノ誓ヒヲ立テテ、時局ノ第一線ニ活躍シツツアルノデゴザイマス、君ノ遺蹟洵ニ偉大ナリト言ハネバナリマセヌ、今ヤ苛烈ナル決戰眞最中、此ノ有爲ノ才ヲ抱イテ忽然トシテ不歸ノ客トナラレ、永遠ニ本講場ニ相見ユルノ機ナキニ至リマシタコトハ、洵ニ國家ノ爲ニ痛惜ニ堪ヘヌノデゴザイマス、茲ニ謹ンデ哀悼ノ意を表スル次第デゴザイマス(拍手)

○議長(岡田忠彦君) 岸田正記君
(岸田正記君登壇)

○岸田正記君 此ハ此ノ際甚ダ僣越デゴザイマスルガ、諸君ノ御許シヲ得マシテ、議員一同ヲ代表致シマシテ、故加藤俊夫君ノ逝去ニ對シ謹ンデ哀悼ノ辭ヲ述ベタイト存ジマス

加藤君ハ實ニ其ノ魁偉ナル體軀、堂々タル風貌ノ示サガ如ク、平素極メテ旺シナル精神力ト、逞シキ健康體トヲ兼ネ具ヘテ、恰モ病ムコトヲ知ラザル人ノ如キ感ガアツタノデアリマス、然ルニ不幸本年初頭ヨリ病ノ冒ス所トナラレマシテ、時恰モ第八十一議會開會中デアリマシタ爲メ、優レテ責任感ノ強キ君ハ、敢然病軀ヲ押シテ連日登院ヲ續ケラレ、其ノ蘊蓄ヲ傾ケテ審議ノ職責ヲ全ウセラレタノデアリマス、斯クテ漸ク閉院ノ日ヲ待チマシテ初メテ廣島市ノ自邸ニ歸リ、更ニ入院シテ切開手術ヲ受ケラレタノデアリマスガ、時既ニ病勢甚ダシク昂進致シテ居リマシテ、爾後ノ容態モ惡化ノ一路ヲ辿リ、遂ニ去ル六月七日再び起ツナク、年齒五十九歳ニシテ黃泉ノ客トナラレマシタコトハ、返スルモ痛恨ノ極ミト存ジマス

君ハ明治十八年八月愛媛縣新居郡新居濱町ニ生ラレ、夙ニ清語學堂ヲ經テ、明治大學ノ專門部ニ法律學ヲ修メラレタノデアリマス、少壯志ヲ政治ニ立テ、學ヲ卒ヘテ世ニ出ヅルヤ、居テ廣島市ニ移シマシテ、爾來致々トシテ地方民福増進ノ爲ニ東奔西走ヲ續ケ寧日ナカツタノデアリマス、斯クテ衆望年ト共ニ高ク、大正十年ニハ選バレテ廣島市會議員トナリ、引續キ當選四回、更ニ大正十二年ニハ廣島縣會議員ニ選出セラレマシテ、引續キ當選五回、此ノ間市會副議長、同議長ニ舉ゲラレ、又縣會副議長、同議長タルコト各、二回ニ及ビ、地方政界ノ重鎮トシテ活躍ヲ續ケラレタノデアリマス、更ニ大政翼贊會ノ創立ヲ見マスルヤ、選バレテ中央協力會議員トナリ、其ノ使命達成ノ爲メ又大イナル力ヲ致サ

レ、次イデ昨春ノ衆議院議員總選舉ニ際シ、驟然廣島縣第一區ヨリ立候補セラレマシテ、多年ノ宿望ヲ果シテ、初陣ニ克ク當選ノ榮冠ヲ贏チ得ラレ、愈、其ノ逸足ヲ中央政治ニ進メラレ、至ツタノデアリマス、斯クノ如ク君ガ政治的足跡ヲ顧ミマスレバ、疑々トシテ止マル所ナク、前進ノ巨歩ヲ續ケ、行ク所可ナラザルナキ卓拔ノ才腕ヲ揮ヒ、以テ太田川ノ改修、宇品港ノ修築、或ハ大廣島市都市計畫ノ完成等國家並ニ地方發展ノ上ニ貢獻シタル所枚舉ニ遑ナク、其ノ功績洵ニ顯著ナルモノガアツタノデアリマス、君ハ資性濃厚ニシテ而モ情誼ニ厚ク、自ラ奉ズルコト薄クシテ、人ノ爲ニ盡シテ惜シマズ、君ガ常ニ地方一方ノ棟梁トシテ千鈞ノ重ヲ示シ來レル亦宜ナリト謂フベキデアリマス、而モ無盡ノ智略、不屈ノ剛魂ニ加フルニ宿年ノ政治的練磨ト相俟チ、其ノ器量愈、上リ、手腕益、冴エ、今後君ガ邦家ノ爲ニ盡瘁貢獻スル所眞ニ大ナル期シテ俟ツベキモノガアツタノデアリマス

今ヤ祖國ノ運命ヲ決スベキ曠古ノ重大時局ニ當リ、君ノ如キ有爲ナル材器ガ一朝忽焉トシテ不歸ノ人トナラレマシタコトハ、邦家ノ爲メ痛惜ノ情ニ堪ヘザル所デアリマス、茲ニ議員一同ヲ代表致シマシテ、恭シク弔意ヲ表シ、哀悼ノ誠ヲ捧ゲル次第デアリマス(拍手)

○武知君 議員赤尾敏君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ提出致シマス、即チ昨日ノ議場ニ於ケル赤尾君ノ言動ハ、議院ノ體面ヲ汚シタルモノト認メ、茲ニ本動議ヲ提出致ス次第デゴザイマス

○議長(岡田忠彦君) 只今ノ武知君ノ動議

ヲ議題ト致シマス、懲罰ノ動議ハ討論ヲ用ヒズシテ採決致スノデアリマス、仍テ直チニ採決致シマス、武知君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(贊成者起立)

○議長(岡田忠彦君) 起立多數、仍テ議員赤尾敏君ヲ懲罰委員ニ付スルニ決シマシタ、明十八日八午後一時ヨリ本會議ヲ開キマス、議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後九時五十五分散會

